第151号
2020.11.15
（令和2年）

ひこね市議会だより

玄宮園

楽々園

元ノムラ文具店

足軽組屋敷 谷山家住宅

彦根城西の丸

山の湯（元銭湯）

袋町元遊郭

令和2年7月臨時会（7月22日）
令和2年9月定例会（9月7日～10月14日）

- 7月臨時会で決まったこと‥ 2
- 9月定例会で決まったこと‥ 3～7
- 代表質問…… 8～9
- 個人質問…… 10～19
- お知らせ…… 20

BIWAKO BIENNALE 2020　“森羅万象～COSMIC DANCE”（2020.10.10（土）～11.23（月・祝）開催）
彦根市内８会場の様子。詳しくはこちらをご覧ください。
https://energyfield.org/biwakobiennale/

スミス記念堂

7月臨時会の結果

７月22日（水）の７月臨時会の結果についてお知らせします。
一般会計補正予算案等６件を原案のとおり可決・承認しました。

７月臨時会　議案の議決結果

会期：7月22日（水）

■全員賛成で可決・承認した議案等

項目	番号	件　　名
議　案	91	専決処分につき承認を求めることについて（令和２年度（2020 年度）彦根市一般会計補正予算（第５号））
	92	令和2年度（2020年度）彦根市一般会計補正予算（第6号）
	93	令和2年度（2020年度）彦根市国民健康保険事業特別会計補正予算（第3号）
	94	令和2年度（2020年度）彦根市介護保険事業特別会計補正予算（第1号）
	95	令和2年度（2020年度）彦根市後期高齢者医療事業特別会計補正予算（第1号）
	96	令和2年度（2020年度）彦根市病院事業会計補正予算（第3号）

■議会に提出された報告

項目	番号	件　　名
報　告	13~14	和解および損害賠償の額の決定について

一般会計補正予算の主な事業

ひとり親世帯臨時特別給付金支給事業　1億3,743万1千円

新型コロナウイルス感染症の影響による、ひとり親世帯の収入の減少や心身等に生じる負担を軽減するための支援に必要な経費です。

※基本給付（児童扶養手当受給世帯等への給付）１世帯５万円、第２子以降１人につき３万円
　追加給付（収入が減少した児童扶養手当受給世帯等への給付）１世帯５万円

市民活動団体感染症対策強化支援事業　1,507万9千円

新型コロナウイルス感染症拡大防止のための設備整備等を行い、新しい生活様式の普及・実践に取り組む市内の市民活動団体等に対して、１団体につき５万円を上限とし、当該設備整備等に係る費用を補助するために必要な経費です。

妊婦特別支援金給付事業　1,064万6千円

出産までの間に不安を持っている妊婦の方が、経済的にも精神的にも安心して出産ができるよう、国の特別定額給付金の基準日である令和２年４月 27 日時点で妊娠しており、妊娠届出書を提出された方（出産予定日が令和３年１月 11 日以降の方を除く。）を対象に、１人につき 10 万円の特別支援金を給付するため、６月定例会で予算を計上しましたが、見込みより対象が多いため、必要な経費です。

議案第92号に対して谷口典隆議員から個人質疑がありました。

９月定例会の結果

10月14日（水）に閉会した９月定例会の結果についてお知らせします。

予算関係６件、決算４件、条例関係４件、その他議案５件、諮問４件を審査し、原案のとおり可決、同意、認定、適当と認めました。

また、請願１件を不採択とし、意見書３件のうち、１件を可決、２件を否決しました。

９月定例会　議案の議決結果

会期：9月7日（月）～10月14日（水）

■全員賛成で可決・同意・認定・適当とした議案等

項目	番号	件名
議案	98	令和2年度（2020年度）彦根市国民健康保険事業特別会計補正予算（第4号）
	99	令和2年度（2020年度）彦根市休日急病診療所事業特別会計補正予算（第2号）
	100	令和2年度（2020年度）彦根市病院事業会計補正予算（第4号）
	101	令和2年度（2020年度）彦根市水道事業会計補正予算（第2号）
	102	彦根市土砂等による土地の埋立て等の規制に関する条例案
	103	彦根市特定教育・保育施設および特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例案
	104	彦根市家庭的保育事業等の設備および運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例案
	105	彦根市民会館の設置および管理に関する条例を廃止する条例案
	107	財産の取得につき議決を求めることについて
議案	109	令和元年度（2019年度）彦根市病院事業会計の決算につき認定を求めることについて
	110	令和元年度（2019年度）彦根市水道事業会計の決算につき認定を求めることについて
	111	令和元年度滋賀県市町村交通災害共済組合一般会計歳入歳出決算につき認定を求めることについて
	112	彦根市教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて
	113	彦根市教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて
	114	令和2年度（2020年度）彦根市一般会計補正予算（第8号）
諮問	1~4	人権擁護委員の候補者の推薦につき意見を求めることについて
意見書	2	新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地方税財源の確保を求める意見書案

■議会に提出された報告

項目	番号	件名
報告	15	損害賠償の額の決定について
	16	令和元年度（2019年度）一般財団法人彦根市事業公社の決算状況について
	17	第32期彦根総合地方卸売市場株式会社の決算状況について
	18	第23期株式会社夢京橋の決算状況について
	19	第17期株式会社四番町スクエアの決算状況について
報告	20~27	市の債権の放棄について
	28	令和元年度（2019年度）主要な施策の成果、事務報告書および基金運用状況報告書について
	29	令和元年度(2019年度)彦根市の健全化判断比率等について
	30	和解および損害賠償の額の決定について

■賛否が分かれた議案等

（○：賛成　●：反対　ー：議長　退：退席）

項目	番号	件名	結果	辻真理子	中川睦子	角井英明	獅山向洋	堀口達也	北川元気	上杉正敏	中野正剛	杉原祥浩	谷口典隆	和田一繁	野村博雄	森野克彦	林利幸	森田充	小川吉則	矢吹安子	赤井康彦	小川隆史	黒澤茂樹	伊藤容子	馬場和子	長﨑任男	安澤勝
議案	97	令和2年度（2020年度）彦根市一般会計補正予算（第7号）	可決	○	○	○	●	○	○	○	○	○	退	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	ー
	106	工事請負契約の変更につき議決を求めることについて	可決	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	ー
	108	工事に関する協定の締結につき議決を求めることについて	可決	●	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	ー
	115	令和元年度（2019年度）彦根市各会計歳入歳出決算につき認定を求めることについて	認定	●	●	●	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	ー
請願	1	彦根市の教育施設などに安定ヨウ素剤の事前配布を求める請願	不採択	○	○	○	○	○	○	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	ー
意見書	3	少人数学級の実現を求める意見書案	否決	○	○	○	○	○	○	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	ー
	4	個人消費を拡大し地域経済再生のために消費減税を求める意見書案	否決	○	○	○	○	○	○	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	ー

一般会計補正予算の主な事業

予防接種事業　9,945万7千円

新型コロナウイルス感染症の拡大期と季節性インフルエンザの流行期が重なる秋冬に備え、重症化リスクや医療機関の負担軽減を目的に、インフルエンザ予防接種の自己負担分について軽減し、接種率の向上を図るための費用です。

詳しい対象は10月15日号の広報に掲載されています。

高齢者・機能障害のある方　自己負担額：無料

妊婦　自己負担額：無料

お問い合わせは
彦根市
健康推進課
0749-24-0816
まで

乳幼児・小中学生・高校生相当年齢の方

- 平成17年４月２日以降生まれで接種当日に生後６か月の方　自己負担額：助成金額2,000円/回を差し引いた額
- 平成14年4月2日～平成17年4月1日生まれの方　自己負担額：助成金額1,000円/回を差し引いた額

彦根市民会館管理運営事業　664万円

本庁舎耐震化工事の終了に伴う市民会館内事務所の移転後、同会館の解体工事に着手するため、実施設計および地歴調査の委託に係る費用です。

（積算内容）	所要額		現計		補正額
・設計等委託料	580万8千円	－	0	＝	580万8千円
・調査等委託料	83万2千円	－	0	＝	83万2千円

図書館整備およびネットワーク構築推進事業　461万8千円

彦根市図書館整備基本計画に基づき、中央館を整備するに当たり、用地を選定するため、外部有識者を含む選定委員会を設置するほか、検討に必要な調査や資料の作成、選定委員会の運営支援等を委託するために必要な経費です。

（積算内容）	所要額		現計		補正額
・報償費	12万円	－	1万2千円	＝	10万8千円
・中央館候補地調査業務委託料	451万円	－	0	＝	451万円

９月定例会追加議案に対しての個人質疑

議案第114号に対して２名（獅山向洋議員、馬場和子議員）から個人質疑がありました。

予算常任委員会

令和2年度(2020年度)彦根市一般会計補正予算等、議案6件を可決

予算常任委員会は９月23日（水）と30日（水）に委員会を開催し、６件の議案について慎重に審査しました。

【審査】

・議案第97号、議案第98号、議案第99号
議案第100号、議案第101号、議案第114号

【主な質疑】

〇議案第97号に対して

Q　職員の分散勤務の詳細は。

A　部門別に試算し、彦根総合地方卸売市場に65人、四番町ダイニングに25人、中央町仮庁舎に30人の合計約120人を対象に実施予定。在宅勤務や時差出勤も併せ、職場の密を減らす。

Q　市民活動団体感染症対策強化支援事業の詳細は。

A　公益性の範囲を広げ、ボランティア活動団体以外も対象とし、令和２年４月１日に遡り、すでに購入したものも補助対象とする。

【主な討論】

〇議案97号に対して

反対　金亀公園整備事業に行政改革推進債や都市計画債が充当されていること、コロナ禍のバラマキの印象を受けることから反対する。

賛成　番号制度の問題点として、社会保障と税の情報を一元管理することで、負担にあった給付などで給付を抑制し、国の財政負担の削減、大企業の税や保険料の削減を狙うことが制度の出発点であったこと、この制度に対する国民の不安や不信が大きいこと、そのことに対して丁寧な説明がなされていないこと、以上の3つを指摘し、賛成する。

【結果】

・議案はいずれも原案のとおり可決

福祉病院教育常任委員会

彦根市民会館の設置および管理に関する条例を廃止する条例案等、議案２件を可決　～彦根市民会館を解体へ～

福祉病院教育常任委員会は９月７日（月）と24日（木）に委員会を開催し、２件の議案について慎重に審査しました。

【審査】

・議案第105号、議案第107号

【主な質疑】

〇議案105号に対して

Q　市民への周知方法は。

A　利用団体には調整会議にて説明し、市民向けにホームページや広報にて周知していく。

Q　市民会館が使用できなくなった時の代替施設の利用料金は。

A　１時間あたり、市民会館の会議室では380円程度であるが、同規模の部屋の目安として、ひこね市文化プラザの研修室で410円、みずほ文化センターで230円、高宮地域文化センターで180円となり、安くなるケースが多い。

〇議案第107号に対して

Q　学習用端末の購入台数は？

A　児童生徒数は9,400人ぐらいであるが、５％の予備を含め、小学校6,641台、中学校3,192台の合計9,833台としている。

【主な討論】

〇議案107号に対して

賛成　新型コロナウイルスの収束の見通しが立たない中で、緊急時においてＩＣＴは教員、子どものコミュニケーションをとる有効な手段となり、双方向型の授業も可能なことから賛成する。

【結果】

・議案はいずれも原案のとおり可決

市民産業建設常任委員会

工事に関する協定の締結につき議決を求めることについて等、議案3件を可決

市民産業建設常任委員会は、9月25日（金）に委員会を開催し、3件の議案について慎重に審査しました。

【審査】

・議案第102号、議案第106号、議案第108号

【主な質疑】

○議案第106号に対して

Q　工事内容の変更に伴い、地元への説明はするのか。

A　通行の安全性をより確保するための工事内容の変更であり、地元への影響はないため説明はしないが、供用開始前に案内文書は出す予定。

○議案第108号に対して

Q　昨年5月からの工事変更はあるのか。

A　市公園内の34.7mについて、当初は擁壁か橋梁か決まっていなかったが、設計を進め、橋梁に決定した。

【主な討論】

○議案第108号に対して

反対　市民のためではなく、2週間だけの国スポのために設置することは、必要性が分からない。また、県から言われるままに計画を進めることもおかしいため、反対する。

【結果】

・議案はいずれも原案のとおり可決

企画総務消防常任委員会

彦根市の教育施設などに安定ヨウ素剤の事前配布を求める請願1件を不採択

企画総務消防常任委員会は、9月28日（月）に委員会を開催し、請願1件について慎重に審査しました。

【審査】

・請願第1号

【主な討論】

○請願第1号に対して

反対　滋賀県が発行する安定ヨウ素剤の備蓄及び配布方法については、UPZ内の長浜市、高島市においても、安定ヨウ素剤の事前配布は行わない方針が示されている中、教育施設での備蓄やその管理方法については、しっかり検討し、原子力災害避難計画に記載するべきであり、反対する。

賛成　一番の問題は、原発事故が起きた時に、いかに早く服用するのか、その1点に絞って考えるべき。1か所で保管するよりも複数箇所で保管しているほうが安全性もあるため、賛成する。

【結果】

・請願第1号は不採択

【所管事務調査】

○本庁舎耐震化整備事業について

Q　市内業者を優先的に採用するよう働きかけているか。

A　毎週実施している定例会議の場において、工事請負業者に対し、極力市内業者を選定するように働きかけており、現在19業者の採用が決まっている。

Q　平面図についての説明を。

A　（各フロアの配置を説明）今後、組織の再編成や、什器類のレイアウトの調整で変更等が生じる可能性がある。

令和元年度の各会計決算を認定

議案第109号、議案第110号、議案第111号、議案第115号の審査のため
決算特別委員会を設置し、10月7日(水)・8日(木)・9日(金)に委員会を開催しました。

委員長：谷口 典隆　副委員長：矢吹 安子
委　員：堀口 達也　小川 吉則　中川 睦子　杉原 祥浩　伊藤 容子　林 利幸　黒澤 茂樹　中野 正剛

委員からの主な質疑の概要

企画総務消防常任委員会が所管する事項

【全体】枠配分方式による予算編成の課題、実質公債費比率の分析と評価について。
【歳入】減収補塡債と行政改革推進債の起債にかかる背景と使途、入湯税の内訳、ふるさと納税・新市民体育センター建設基金への寄附額や目標に対する達成率などについて。
【歳出】新婚生活・移住に対する補助金の未執行の理由、災害用備蓄品・広報ひこね・賦課徴収経費の人件費の不用額が多い理由、ホームページへのアクセス数、広報経費の費用対効果、地域おこし企業人交流プログラム事業の成果、海外渡航経費が増額となった理由、県市長会主催の視察研修の効果、消防自動車の更新による旧車両の処分方法などについて。

市民産業建設常任委員会が所管する事項

【歳入】森林環境譲与税の目的、物品売払収入の内訳などについて。
【歳出】工場等設置奨励事業の対象事業所数や補助の内訳、「ひこねで暮らそう」リフォーム事業の不用額の理由と経済波及効果、プレミアム付き商品券発行事業の申請者数が低調に終わった原因、水産振興事業の取組内容と成果、彦根物産海外展開支援委託料の事業内容と成果、パークアンドバスライド事業の利用者数と測定効果、旧港湾清掃委託料の委託先と事業概要、有害駆除事業による駆除頭数、地方バス維持運行経費の内訳などについて。
　国民健康保険事業会計の人間ドックや特定健診受診率向上への取組などについて。水道事業会計の中期経営計画に基づく収支バランスや未収金徴収の取組などについて。

福祉病院教育常任委員会が所管する事項

【歳出】我が事・丸ごとの地域づくり推進事業の取組実績や関係機関との連携内容、生活困窮者自立事業の概要、ふるさとの学び舎整備事業寄附金の使い途、図書館職場見学や職場体験事業の目的と効果、老人福祉センターの修繕施設と修繕箇所、公民館地域講座の実績と評価、配偶者暴力相談事業と児童虐待防止対策事業の相談件数と相談内容、不登校対策事業の効果、進学準備給付金の不用額の理由などについて。
　休日急病診療所事業会計の９月と 10 月の日曜日を休診としたことによる影響などについて。介護保険事業会計のおむつ等購入費助成事業の不用額が多い理由などについて。彦根市病院事業会計の医師確保の取組内容、医療収益や診療単価増加の要因などについて。

討論

【賛成】議案第 115 号に賛成の立場からは「当初予算案の否決により、暫定予算と本予算で構成された令和元年度予算は、職員に十分な説明もないまま枠配分方式が採用されたことで、各部局は事業を大幅に削減せざるを得なかった。本決算は事業の未執行などの課題はあるが、工夫して取り組まれた事業も多くその点は評価する」との討論がありました。
【反対】議案第 115 号に反対の立場からは「枠配分方式の予算編成により市民の暮らしに直結した予算が削減された一方で、大企業を優遇する事業や新市民体育センターの建設事業費は大きく膨らみ、これ以上市民に負担を負わせるわけにはいかない」また、「新市民体育センターの建設費が 30 億円以上も膨らむ中、寄附金は 58 万円と低調で、事業規模を見直すべき。介護保険事業のおむつ等購入費助成事業は制度の見直しで大変困っておられる現状は全国一の福祉モデル都市とは程遠い」との討論がありました。

結果

議案第 109 号・第 110 号・議案第 111 号については異議なく原案のとおり認定すべきものに、議案第 115 号については起立採決の結果、賛成多数で原案のとおり認定すべきものに決まりました。

公政会

質問者
杉原　祥浩議員

Q 来年度予算歳入確保の取組は

A ふるさと納税等を推進していく

Q 本年度予算の執行ならびに取組状況と、来年度令和３年度歳入確保のための取組として現状と今後の見通しは。

A ネーミングライツ導入や企業版ふるさと納税については、全庁的なルールの策定を行い、庁内の推進体制を整え準備を進めている。ふるさと納税は、令和２年４月から８月までの寄附金額は4,310万3,522円で、前年同期比1,362万6,307円の増、伸び率は146%である。これは、感染症拡大に伴う在宅勤務やうち食・うち飲み需要の拡大による食料品の返礼品の増加が影響していると推測される。コロナ禍で楽観視できる状況にないため、今後とも景気動向等を十分に注視し、積極的なＰＲ活動を展開していく。

▲ふるさと納税で人気の彦根梨

Q 国スポ・障スポ大会延期の影響は

A 工事スケジュールに変更はない

Q 鹿児島県知事から新型コロナ禍で延期になった鹿児島国体・鹿児島大会の2023年開催のため、後催県の１年延期が要請されている中、2024年滋賀県で開催予定であった「国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会」延期に向けての、ソフト・ハード面における影響は。

A 個人支援については、主に県が取り組んでおり、延期となった場合でも選手育成に向けた取組を継続して実施していただくよう滋賀県に要望していく。

（仮称）彦根市新市民体育センター、金亀公園、主会場周辺の道路、河川の整備については、両大会の開催年が延期されても、工事スケジュールを変更することはなく、整備を進めていく。

開催年	当初予定	変更後
2020	鹿児島県	延期
2021	三重県	三重県
2022	栃木県	栃木県
2023	佐賀県	鹿児島県
2024	滋賀県	佐賀県
2025	青森県	滋賀県
2026	宮崎県	青森県
2027	長野県	宮崎県

▲国体（2024年から国スポに名称を変更）の開催地変更案

その他の質問

- 新型コロナウィウス感染症の対応について
- 彦根城の世界遺産登録に向けての進捗と課題について
- 小中学校の再編統廃合について

夢みらい

質問者
森田　充議員

Q 令和３年度予算編成の留意点は

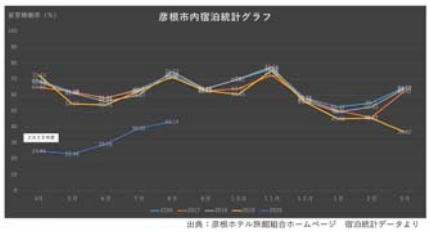
A 市民生活への影響を少なくしていく

Q 新型コロナウイルス感染対策の影響による令和３年度予算編成の留意点は。

A 新型コロナウイルス感染症の影響により、令和２年度予算において、市税や観光事業の面で大きな影響がでており、歳入面での乖離が生じている。

また、予算編成段階で予想していなかった同ウイルス感染症対策関連経費という新たな歳出が生じているほか、同ウイルス感染症における不確定要素が強く、この影響の見通しがたっていない現状である。

現段階で予想できることとしては、令和２年度水準の歳入確保が難しく、令和３年度予算規模については、自ずと縮小せざるを得ないと考えている。したがって、同ウイルス感染の状況や国の動向等に注視し、市民生活への影響を出来る限り少なくしていかなければならないと考えている。



▲市内客室稼働率推移

Q 全線存続に賛成された判断材料は

A 市内の交通環境を守るため

Q 大久保市長が近江鉄道の「全線存続」に賛成された判断材料は。

A 近江鉄道沿線地域公共交通再生協議会では、住民や利用者などを対象にしたアンケート調査、近江鉄道線の多様な価値を図るためのクロスセクター効果分析、代替交通手段を整備した時の必要経費の検討を行ったうえで、近江鉄道線が人と人が集い、関わり合う社会的結節点であり、地域住民にとっては代替のない交通機関であることを確認し、全線存続に合意したものである。

近江鉄道線は、本市においても、駅周辺に複数の学校や事業所が所在し、通学・通勤手段として日常的に多くの人に利用されている重要な公共交通であることは同様であり、協議会でのこうした議論を踏まえ、市内の交通環境を守るためにも、全線での存続が不可欠であると判断したものである。

▲愛知川橋梁を走る近江鉄道の300形の車両

その他の質問

- 彦根市立図書館について
- 新型コロナウイルス感染症クラスター対策について
- 彦根市立病院の現状について

市政について質す！

9月定例会一般質問

19人の議員が、市政に対する個人質問を行いました

制限時間は30分

議員1人あたりの発言時間は30分です。一問一答方式で行い、答弁は市長や各部長等が行います。

ホームページから見る

市議会のホームページから、個人質問等の様子をライブ・録画中継で見ることができます。

QRコードから見る

QRコードを読み取っていただくと、それぞれの配信ページに繋がります。

ライブ配信・録画配信の視聴について（本会議のみ）

ライブ配信は、本会議を彦根市役所中央町仮庁舎で実施する間、音声配信のみとなります。録画配信は、休憩時間等をカットし、編集して、配信する予定です。　※委員会については、配信しておりません。

彦根市役所本庁舎での開催となり次第、本会議・委員会ともに映像での配信を行う予定のため、ご理解ご協力のほどよろしくお願いいたします。配信については、「彦根市議会インターネット映像配信」にてご覧ください。　http://www.hikone-city.stream.jfit.co.jp/

長﨑　任男議員
市民産業建設常任委員会

Q　中央図書館の用地選定の方法は

A　透明性・公平性をもって客観的に選定する

その他の質問

- 要望事項の回答を自治会にフィードバックしているのか
- 市の担当部局においてワンストップで要望事項を対応しては

Q　中央図書館の用地選定は多くの市民、関係者が注目している。選定の過程や経過を明らかにし、納得できる方法で選定していく必要があるのでは。

A　市の基本計画に基づき、法律や市の総合計画、土地利用計画との整合性、交通の利便性や周辺環境との調和、将来にわたる地域のまちづくりへの寄与、地元住民の理解度・協力度、経済性などを勘案し透明性・公平性が担保された客観的な手続きを経て選定されるべきと考えている。

Q　市長は中央図書館整備をリーダーシップを持ってやっていただけるのか。

A　中央図書館の整備は市民の皆様にお約束した「10の約束」の一つであり、今年度中の用地選定に全力を尽くしていきたい。

▲彦根市北部に位置する現彦根市立図書館

谷口　典隆議員
企画総務消防常任委員会

Q 人工内耳用の電池や充電器への補助金助成を

A 高額で装用者の負担大きく新年度で検討する

その他の質問

- 市民会館の跡地の利活用と地権者への協力について
- 滋賀銀行彦根支店の統廃合と地域経済に与える影響について

Q 人工内耳は、装着と訓練により中途失聴者が一定程度、音声を聞き取れるようになったり、聴覚障害のある乳幼児の言語発達を支援できる場合があるとされている。

彦根市では人工内耳の外部装置の補助制度はあるが、電池や充電器への補助を行った場合、予算はいくら必要か。

A 現在、彦根市の外部装置の補助制度を利用されている４名を対象者とし、市場価格などを参考に電池と充電器の補助を実施するとして試算すると、初年度はおおよそ25万円となる。

Q 人工内耳の電池や充電器への補助について制度を拡充すべきと考えるが見解は。

A 人工内耳に係る電池や充電器は高額で、経済的な負担となっていることは把握しており、令和３年度予算に向けて検討したい。

▶人工内耳外部装置で使用されている電池や充電器

矢吹　安子議員
市民産業建設常任委員会

Q 佐和山周辺の観光資源に「しだれ桜」を

A 所有者である多賀大社の思いやご要望を聞く

その他の質問

- 玄宮園の復元整備について
- 市民会館跡地の有効利用について

Q 井伊神社社殿北側に彦根市指定の保存樹木「しだれ桜」がある。保存樹木は緑豊かな景観と心に安らぎを与える存在であることから、保存樹木指定を広げる考えは。

A 樹木等の所有者や地元から指定の要望があれば、調査のうえ指定する。

Q 彦根市保存樹木等保全事業補助金交付要綱の補助対象の拡充は。

A 補助金対象は、剪定と樹木医等による診断等の２つであるが、末永く保存していくために他市町の補助や助成の制度を参考に、補助金の対象事業の拡充を検討する。

Q 所有者である多賀大社は、井伊家ともゆかりがある観光名所「しだれ桜」について地元彦根市と話し合いたいという思いを持っておられるが、本市の見解は。

A 多賀大社の思いやご要望を聞かせていただく。

▲井伊神社にあるしだれ桜

上杉　正敏議員
市民産業建設常任委員会

Q 自立相談支援機関等の強化をしては

A 伊丹モデルを参考に生活困窮者支援を研究

その他の質問

- 「終活おうえん窓口」について
- 市指定ごみ袋の包装用紙に有料広告をしては
- 要支援者に無線受信機の貸し出しを

Q 彦根市における自立相談支援の現状は。

A 彦根市では生活困窮者自立支援と生活保護支援を一体的に取り組んでいる経緯から、生活困窮世帯と生活保護世帯への支援体制として、専門の支援員を正規職員２名と会計年度任用職員10名を配置している。

Q 生活困窮者自立支援「伊丹モデル」の活用をしては。

A 生活困窮者支援のうち、就労支援、就労準備支援においては、「彦根市いきがいわくワークセンター」を設置し、市内の企業やＮＰＯ団体、社会福祉法人などの事業者と協力し就職に向けた支援、就労後のフォローなどを就労支援員、就労準備支援員が中心になって行っている。

「伊丹モデル」のような認定職業訓練事業所も参考とし、生活困窮者支援に繋げられるように研究していく。

▲彦根市福祉センターの外観

辻　真理子議員
福祉病院教育常任委員会

Q 置きざりにされた事業者への今後の対策は

A 他の事業も実施しており状況を見て判断する

その他の質問

- 「彦根市職員等の内部通報に関する要綱」について
- 市民会館の解体について

Q 市内の飲食店・物販小売店は何店舗あるのか。

A 総務省統計局の経済センサスでは1,327店舗（飲食業483、小売業844）である。

Q 商工会議所・観光協会・商店街組合に加入していない事業者は何店舗か。

A およそ600件余りである。

Q カタログチョイス事業に300店舗を掲載するとの答弁であったが、300店舗の理由は。

A ４分の１の応募があると見込んだ。

Q 参加募集期間は１週間で足りると考えたのか。

A 事前に商工会議所・観光協会・商店街組合を通した予告のほか、報道機関やHP、市広報などでもできる限り周知した。

Q 置き去りにされた半数以上の事業者への今後の対策は。

A 中小小売事業者への他の事業も実施しており、今後の新型コロナウイルス感染症の状況を見て判断していきたい。

▲カタログチョイス表紙

角井　英明議員
福祉病院教育常任委員会

Q コロナ禍で起こる自然災害への対応について

A 複数の避難場所等を早期に開設予定

その他の質問

- 南デイサービスセンターの存続について
- 湖東保健医療圏域におけるPCR検査の拡充を

Q コロナ禍で避難場所の人数を減らす必要があるが、避難場所は確保できるのか。

A 指定緊急避難場所を市内63か所に指定しているほか、民間施設等の７か所に協力のお願いをしており、複数の避難場所等を早期に開設することや、施設内でより多くの部屋を開放するなどの対応を予定している。また、安全が確保できる場合は、市が定める避難場所以外への避難についても呼び掛けていく。

Q 簡易テントやパーテーションの今後の備蓄計画は。

A 平成 25 年台風第 28 号の避難者数を基に約 700 世帯分を想定して、現在おおむね 450 世帯に対応できる資機材を保有している。また、「災害発生時における段ボール製品の調達に関する協定」により、不足分を調達できる見込みである。

▲感染症用簡易テント

北川　元気議員
企画総務消防常任委員会

Q 国スポ・障スポ１年延期の影響は

A 中学２年生から出場できない選手がでる

その他の質問

- コロナショックの影響について
- 令和３年度当初予算について
- 談合の疑いのある入札案件の中止について

Q １年延期による選手への影響は。

A 滋賀県が、2024年開催を前提に、現在の小学５年生から中学２年生までを強化選手に指定し競技力向上に努められているが、１年順延により少年種別で出場できない学年となる現在の中学２年生の選手が出る。

Q １年延期による費用面での影響は。

A 現在各施設に配布しているのぼり旗などの啓発物品の再作成を行う必要が生じるほか、各種取組を継続する期間が延びることから、担当職員の人件費を始め、開催準備業務に要する費用の増加が懸念される。

Q 費用は誰が負担するのか。

A 費用は彦根市が負担することになるが、スポーツ庁と県知事との面談の際には、できる限りの支援を検討しているとコメントがあり何らかの支援があると考えている。

▲１年延期が見込まれる国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会のロゴ

伊藤　容子議員
福祉病院教育常任委員会

Q 短期集中予防サービス事業の取組は

A 応募拡大と効果的な実施を目指す

その他の質問

- 新型コロナの医療体制について
- 新ごみ処理施設のエネルギー活用について
- 消防車両の寄贈先について

Q コロナ禍で高齢者の介護予防の取組は。

A 外出自粛で「足腰が弱くなってきている」「孤独になり認知能力も低下する」などの声を聞く。フレイル防止対策の取組として金亀体操ＤＶＤや感染拡大防止のためのちらしを配布し、家庭でできることの紹介に努めた。

Q 短期集中予防サービス事業の効果は。

A 要介護状態になりそうな高齢者が、リハビリ専門職等の指導を受け訓練すると体力測定でバランス・筋力の複合的な能力は、94%と高い改善率が認められた。

Q 事業の拡大実施への取組と新たな事業は。

A 今後は、実施条件等の緩和により事業所の応募拡大と効果的な実施を目指す。また、国が進める「高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施」の中でも検討する。

▶金亀体操の自主グループ紹介冊子

赤井　康彦議員
福祉病院教育常任委員会

Q 新市民体育センターで使用可能なスポーツは

A 従来に加え相撲やプロレス、柔道等も可能

その他の質問

- ペットとの共生条例を
- ペットのフン害防止の取組強化を
- 能力を超えた多頭飼育の状況は
- 地域猫制度利用の自治会は

Q 建設工事に伴い更なる安全策を講じるべきでは。

A 今後工事車両の出入りも増加することから、交通誘導員を増員することや新規に入場する専門業者に対して現場の状況やルール等について教育を徹底し、一層の安全確保に努める。

Q 市立図書館の貸し出し時間は午後６時までであるが交流センターの図書学習ラウンジでの貸し出し時間は何時までとなるのか。

A 図書学習ラウンジの図書の貸し出し時間は、新市民体育センター全体の運営時間でもある午前９時から午後９時30分までを予定。

Q 新たに使用できるようになったスポーツは。

A 今後は相撲やプロレスといった興行にも対応できることに加え、畳を整備することから柔道等の武道も利用可能となる。

▲建設中の新市民体育センター

森野　克彦議員
市民産業建設常任委員会

Q 保育士等に対する市の支援は

A 引き続き国の動向を注視し検討していく

その他の質問

- 修学旅行の中止について
- コロナ差別について
- 経営力強化補助金について

Q 保育士等の負担増についての市の見解は。

A 保育園、幼稚園、放課後児童クラブでは、毎日の消毒作業や不安を訴えられる保護者への対応、猛暑の中で継続してマスクを付けられない中での保育等、コロナ禍において大変難しい判断と感染症対策を取りながら、継続して保育を提供することが求められる業務であり、職員の負担も増加していると認識している。

Q 保育士等に対する市の支援は。

A 保育園、幼稚園、学童保育従事者については、相当程度心身に負担がかかる中で、強い使命感を持って業務に従事して頂いているが、慰労を目的とした給付については国の事業目的に合わせて支援を行いたいと考えているため、今後も引き続き国の動向を注視し検討していく。

▲感染症対策で負担が増加する保育士等の日常業務

堀口　達也議員
福祉病院教育常任委員会

Q 観光客向け施策に期待する効果は

A 国と市の施策を合わせ観光消費を促す

その他の質問

- クラウドファンディングの効果と目標は
- クリス・グレン氏に期待する効果は
- 市独自のクリーン認証制度を設けては

Q 彦根城の来城者数の前年度比較は。

A 彦根城の８月末までの来城者数は77,938人で前年度376,355人と比較すると20.7%と大幅に減少した。

Q 観光客向け事業者の現状は。

A 観光庁の調査では、宿泊者数は全国で前年同月比▲68.9%、滋賀県で▲66.6%。観光案内所の売上も８月で前年の３割程度となり、市内の事業者も大変厳しい状況と認識している。

Q 観光客向け施策に期待する効果は。

A 国のＧｏＴｏトラベルでは、市内18の宿泊施設が登録されており、日本全体では780万人以上の利用があった。市独自施策である宿泊促進キャンペーンとおもてなしチケット発行事業は、10月１日より開始予定。国の施策と合わせて観光消費による経済回復に繋げていく。

▲ひこねイイチケットのチラシ

黒澤　茂樹議員
企画総務消防常任委員会

Q 彦根市南デイサービスセンターの今後は

A 次年度以降も運営を継続する

その他の質問

・学校教育の情報化の推進およびGIGAスクール構想についての取組は

Q 市長は地域からの施設存続への思いをどう受け止めるか。

A 稲枝地域には複数のデイサービスセンターがあるが、高齢化率の高い稲枝地域において必要な事業所を確保する上で、南デイサービスセンターの運営を継続することは重要であると考える。

次年度以降の指定管理者の公募については、多くの事業者に応募してもらえるようにできる限りの対応をし、その結果として１者から応募いただいた。

指定管理者としての指定は、議会の議決を前提として、今後、応募があった事業者を指定管理者候補者として選定する手続きを進める。施設の改修が必要な部分については、指定管理者と相談し、優先順位をつけ、必要な予算措置を図り順次対応していく。

▲彦根市南老人福祉センター

獅山　向洋議員
企画総務消防常任委員会

Q 知事との連絡橋工事協定案を提出すべきでは

A 工事請負契約案であるから提出しない

その他の質問

・インフルエンザ予防接種について
・栗見橋の工事請負契約変更について
・小中学校のオンライン授業について

Q 金亀公園連絡橋整備工事に関する知事と市長の協定案を市議会に提出すべきではないか。

A 協定案は工事請負契約案にあたるものであり、これまで契約書案は市議会に提出していない。

Q 市議会には平面図だけを提出した。なぜ、立面図を提出しないのか。

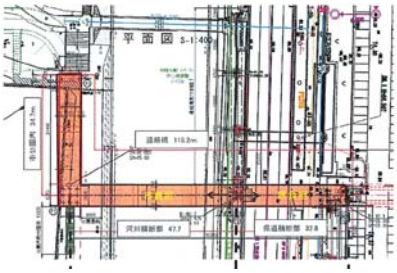
A 平面図は本協定に伴う県と市との工事費の負担割合を説明するものであり、立面図は負担割合と関係ないので提示していない。

Q 工事負担割合は、県が28%、市が72%、この割合は法令によるのか、協議によるのか。

A 県との協議によるものである。

Q 市長は県の主張を鵜呑みにし、彦根市の利益を守っていないのではないか。

A 彦根市の有益な投資として、これからの発展に繋がっていくと信じている。



▲金亀公園連絡橋　平面図

小川　隆史議員
市民産業建設常任委員会

Q マイナンバーカードの活用の検討は

A 電子申請ができる業務を増やす

その他の質問

- ワンストップサービスについて
- 本市におけるキャッシュレスの取組について

Q 彦根市におけるマイナンバーカード活用検討は。

A 現在、マイナンバーが利用できるのは、児童手当の現況届のみであるが、今後、保育施設等の利用申込みをはじめとした「マイナポータル」で検索できる業務を中心に、関係課と連携して、電子申請ができる業務を増やしていく。

また、マイナンバーカードの空き領域を利用したサービスへの活用についても、職員に活用事例等の情報を提供し、アイデア募集を行うなど、調整しながら進めていく。

▲マイナンバーカードの見本（厚生労働省HPから抜粋）

中川　睦子議員
市民産業建設常任委員会

Q コロナの中子どもの安全と保護者との連携を

A 複数の手段の情報提供に努める

その他の質問

- 市の指定管理や委託事業所で働く労働者の保障について
- 子育てしやすい環境、保育園の充実を

Q 生徒、児童、職員の健康管理は。

A 各校に飲料水配布と換気、エアコン使用は現場の声を聞き熱中症と感染症対策の両立を行っている。

Q 密を避けるための少人数20人以下学級は今後も進めるべきでは。

A 密を避ける対策と認識しているが教室などの施設、教員の確保が難しくすぐに実施できない。

Q 教師の負担を減らすための制度、サポーター配置は適切に行なわれているか。

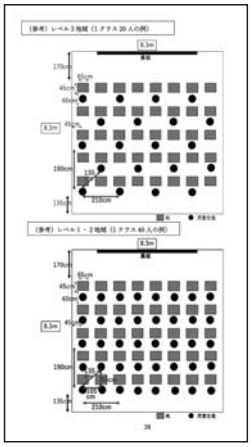
A 追加分スタッフ24名は20名の配置が決まったが４名は引き続き募集。

Q 保護者への連絡は適切で信頼を得ているか。

A 学校の急な対応で迷惑をかけた。複数の手段の情報提供に努める。

Q ＧＩＧＡスクール構想で保護者への説明と納得は得られるか。

A 通信費の負担は検討中。各家庭に負担を求める場合、丁寧に説明する。



▲教室を少人数にした場合のイメージ

小川　吉則議員
福祉病院教育常任委員会

Q 断らない、ワンストップ窓口の設置は

A 「まるごと連携会議」を開催し対応

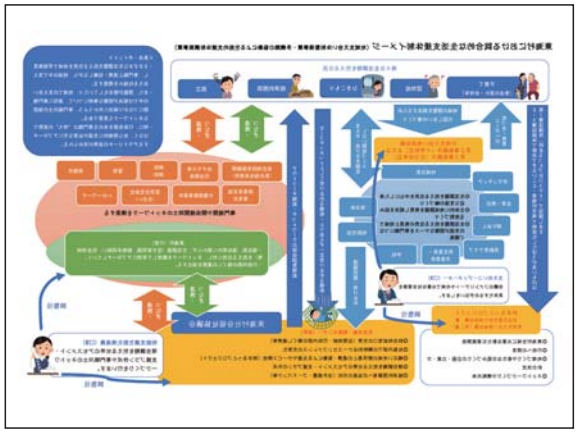
その他の質問

- 令和３年度県予算等に対する要望について
- 子ども分野職員への慰労金について

Q 高齢、障害、子育て、生活困窮など様々な課題を抱えている世帯の相談を、総合的に受ける断らない窓口（ワンストップ窓口）を設置しては。

A 複合的な課題がある世帯の支援への対応として、日頃より部局内での連携を密に行っている他、彦根市社会福祉協議会に委託している「我が事・丸ごとの地域づくり推進事業」において、包括的な相談支援体制の構築を進めている。

課題が複雑化されたり、制度の狭間により支援につながらない困窮者の相談があった場合は、行政、医療機関、保健所、介護や障害サービスの事業所、地区担当民生委員など様々な関係機関が集まり、「まるごと連携会議」を開催し困窮者の支援検討を行なっている。



▲東海村におけるワンストップ窓口のイメージ

中野　正剛議員
企画総務消防常任委員会

Q 新しい子育てガイドブックに対する評価は

A 見やすい、わかりやすいと評価されている

その他の質問

- 帰省希望の学生に無料でＰＣＲ検査を
- 「令和３年　新成人のつどい」の開催を
- パーク・アンド・バスライド社会実験の再開を

Q 彦根市子育てガイドブック作成の経緯は。

A 子育て支援を行っている市民団体と情報交換を行う中で、子育てに関する情報提供を行う手段が必要であるとの意見をいただき作成した。

Q 民間委託を導入した経緯は。

A 市として経費を掛けずに作成が可能なこと、本市が希望する部数の作成が可能であること、全ページカラー印刷での作成が可能であること、全国的にも住民から高い評価を得ていることから判断し取り入れた。

Q 新しいガイドブックに対する市民からの評価は。

A 市が主催する子育てに関する教室や広場の参加者から、写真や文章も見やすくなった、イラストや色遣いがわかりやすい、活用しているとの声をいただいている。また、複数の関係者からもよい評価をいただいている。

▶民間委託により作成された彦根市子育てガイドブック

馬場　和子議員
福祉病院教育常任委員会

Q 彦根市民会館解体に伴う課題解決のためには

A 関係部局と協議検討していく

その他の質問

- 市役所本庁舎へ移転後の施設について
- 芹橋地区に新設される防災広場について
- 働き方改革の進展について

Q 彦根市民会館解体に際しての課題として、利用している部署の行き先や利用団体への配慮は。

A 彦根市の関係機関は本庁舎へ、国際交流サロン・適応指導教室「オアシス」は中央町仮庁舎へ移転。市民ギャラリー、ホールの舞台での練習団体は（仮称）彦根市新市民体育センターのまちなか交流棟やスポーツ棟内での利用が可能。

Q 仮置きされている埋蔵文化財発掘調査で出土した遺物の行き先として、国補助の期待できる稲部遺跡の発掘物と一緒に収蔵・展示しては。

A 将来的には埋蔵文化財センターのような歴史の流れを知らせる施設が出来ればと考えている。

Q 彦根ボランティアガイド協会の事務所を中央町仮庁舎に置く考えは。

A 協会の意向も確認したうえで関係部局と協議していく。

▲解体が予定されている彦根市民会館

林　利幸議員
企画総務消防常任委員会

Q 避難所開設訓練は実施したか

A ７月に東地区公民館にて実施した

その他の質問

- 彦根市一般会計補正予算案について
- コロナ禍における観光施策について

Q コロナ禍における避難所運営マニュアルはあるのか。

A コロナ禍におけるマニュアルとして避難所運営マニュアル（感染症対策編）の暫定版を令和２年７月に作成し、その後関係部局との調整等を行い、内容を修正した上で９月に正式版を作成した。

Q 避難所開設訓練は実施したか。

A 新たに作成した避難所運営マニュアル（感染症対策編）の暫定版に基づいた避難所開設訓練を７月に東地区公民館にて実施した。訓練には危機管理課、健康推進課および東地区公民館職員の他、彦根保健所から保健師の方にも参加いただき、訓練結果を検証の上、避難所運営マニュアル（感染症対策編）の正式版を作成した。

▲7月16日に行われた避難所開設訓練の様子

９月３日（木）にオンライン議会報告会を開催しました！

令和２年度の議会報告会は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、従来のような市内会場に市民のみなさまにお集まりいただく形ではなく、YouTubeのライブ配信により開催いたしました。その結果、ライブ配信では137件、その後の録画配信を含めると、353件の視聴がありました（令和２年９月30日時点）。

現在も彦根市ホームページ内にある彦根市議会ページにて公開しておりますので、是非ご覧ください。

【彦根市議会オンライン議会報告会（第33回議会報告会）】
テ ー マ：「彦根市の新型コロナウイルス感染症対策事業について」
配信時間：約33分間
Ｕ Ｒ Ｌ：https://www.city.hikone.lg.jp/shisei/gikai/6/5806.html

彦根市議会報告会

10月14日（水）にシェイクアウト訓練を実施しました！

▲訓練実施の様子

～シェイクアウト訓練とは～

2008年にアメリカで始まった地震に備える防災訓練で、防災の普及啓発を図り、同時刻一斉に参加者全員が机の下に隠れるなど身の安全を図る行動を実践していただき、自宅や会社などでの日頃の防災対策を確認するきっかけづくりにしていただく訓練です。

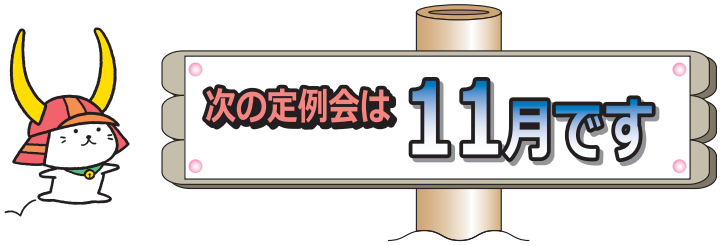
身を守る３つの基本行動

編集後記

７月臨時議会では、合計６議案、９月議会では、合計23議案につき慎重に審議を行いました。会派「公政会」と「夢みらい」が代表質問を行い、また、19名の議員が市民の皆様からお寄せいただいた声をもとに個人質問を行いました。引き続き皆様の声を市政にしっかりと反映できるよう、日々研鑽を重ねてまいります。

さて、今号の表紙には、彦根市内８か所を会場に２年に１度開催されるビエンナーレの写真を採用しました。彦根の良さを再発見していただけたのではないでしょうか。私たち議員も彦根の素晴らしさをどんどん発信してまいります。

広報委員会



本会議・委員会の日程（予定）

月　日	内　　容	時　刻
11月30日（月）	開　　会	９：00
12月 7日（月）	個人質問	９：00
12月 8日（火）		
12月 9日（水）		
12月11日（金）	予算常任委員会	９：30
12月14日（月）	市民産業建設常任委員会	９：30
12月15日（火）	企画総務消防常任委員会	９：30
12月16日（水）	福祉病院教育常任委員会	９：30
12月21日（月）	閉　　会	９：00

ひこね市議会だより第151号
令和2年11月15日発行
編集：広報委員会　発行：彦根市議会　彦根市元町４番２号
電話：0749-30-6130（ダイヤルイン）　電話＆FAX：0749-22-0906
※この広報紙は52,500部作成し、１部当たりの印刷単価は16円（税込・１円未満切捨）です。